【解答解説】2014 久留米大医・推薦入試

【解答】

1	

Т						
-1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
1	d	d	c	b	d	d
2	С	е	f	g		

(1)	(4)	(7)	(8)	(9)	
- 1					

3

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
b	b	a	c	d
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
a	d	a	a	d

4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	2	3	1	2

5

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
d	a	a	d	a	d	

6

(1) 4 1 2 5 6 3

temporary workers with special skills no longer

(2) 6 4 2 3 1 5

There will be more likely professional temp workers

(3) 6 3 1 4 2 5

Named under the ministry's professional job listings

(4) 1 2 4 6 5 3

which about 1.02 people were registered as of

(5) 3 6 5 1 2 4

While more than 80 percent of members have their

*2016年に本解答作成

1 日本語訳

フィールド言語学者は、北東インドのヒマラヤ山脈系の小さな丘の孤立した区域で研究をしていたのだが、最近これまで知られていなかった「ひと目にはつかない」言語を偶然にも見つけた。「コロ」として知られているのだが、その言語は 1000 人にも満たない人が話している。研究者たちは、別の言語の少数派の方言を記録していると思っていた。しかし、すぐにコロには独自の言語構造と語彙があることに気付いた。チームのリーダーであり世界の原語の保全活動をすることで有名な David Harrison にとって、この発見は特にワクワクするものだった。「コロは完全に異なった観点、歴史、神話、技術、文法を以前知られたいたものにもたらしたんですよ」と彼は述べた。

しかし、悲しいことにコロは絶滅の可能性に直面している世界中にある何百もの原語のうちのほんの 1 つである。実は、2 週間ごとに言語が 1 つ消えている。このスピードでいくと、世界の約 7000 言語のうちの半分以上は今世紀末までには絶滅するだろう。雑誌「National Geographic」で書いていることだが、Harrison 教授は、ある言語が消えると、自然界についての「かけがえのない知識」がその言語とともになくなってしまう。「自然界について私たちが知っているもののほとんどがどこにも書き留められていません。人の頭の中だけにあるんです。私たちはまさに前の前で人間の知識の土台が縮小しているのを目にしているんです。」動植物種の約 80%が正式な科学ではなく、原住民によって発見されている、と Harrison は指摘する。こういった人々は種の生態系を詳しく知っており、「科学よりもそういった種を分類する洗練された方法を持っていることが多いのです。」

Harrison はボリビアの部族である Kallawaya と、オーストラリアのアボリジニーの例を引用している。Kallawaya 族はインカ帝国の時代以来伝統的な植物学者である。彼らのほとんどは今はより一般的な Quechua 語を話している。しかし、部族があらゆる種類の病気の治療法として使っている何千もの薬草の情報を保持するために、今や明らかであるが古代には知られていなかった言語も使う。その知られていない言語がなくなれば、そのかけがえのない情報、おそらくガンやエイズにとってさえも治療できるものになるが、その情報はその言語とともになくなる。

オーストラリアのアボリジニーの言語は、世界の中で最も絶滅に瀕しているものの中の 1 つであるが、それが失われることは、人間の別の種類の知識がまもなく消えることを意味する、と Harrison は信じている。「オーストラリアは人間が 50000 万年以上その地に住んでいるためすばらしいんです。アボリジニーは地球の他の場所にいる人々が示していない過去との途切れないつながりを示しているんです。その点で、人間の先史時代を直に垣間見ることができるんです。そこにいる人々が口頭で、どんな種類の文書に頼ることもなく、生み出し伝えてきた神話学上の信念やシステムに触れることができるんです。」

[1]語彙 点線:暗記不要

[ア] a. 予期/期待した

b. 明らかではない

c. 冗長な

d. ワクワクする

[イ] a. 骨折り b. 極度の疲労

c. 排除

d. 消滅, 絶滅

[ウ] a. 記録されたb. 再生可能な c. かけがえのないd. 無尽蔵の, 疲れをしらない

[エ] a. 農家の人 b. 正式な c. より固い d. 前の

[オ] a. 不安定な b. 弱い c. 実現可能な d. 目に見える, 明らかな

[n] a. 自 すくむ b. ~を成し遂げるc. 他~を垣間見るd. ~を推測する

|分析| [ウ]が非常に難しいため差が出る思われる。直後だけを見ると a を選んでしま う。結束性にもとづいて、第3パラグラフまで確認できたかがポイント。

[2]

- (a) AIDS が 3 パラ最終文。pay great sums of money が記載なし。
- (b) Australian aborigines が 3 パラ 1 文目。 2 文目に traditional herbalists とある が、これは Kallawaya の話。 Australian aborigines については 4 パラから説明が始 まる。
- (c) 1 パラ L1-3 より。
- (d) Mr. Harrison が登場する箇所を検索するが, accepts 以下は記述なし。
- (e) 3000, 2100 が 2 パラ L2-3 に対応。by the end of the century が before the year 2100 とパラフレーズされている。この選択肢は難しい。
 - ◆ 久留米ではパラフレーズがしっかりとされて作問されるため、過去問演習の 際はパラフレーズを自分なり検証しよう。
- |(f)| 1 パラ L2-3 より。L3 の all its own(独自の)が選択肢では unique になってい る。
- |(g)| secret が 3 パラ L3。L4 の remedies (療法) が cures になっている。
- (h) 空所(エ)前後の not A but B 部分。than の前後関係が逆。

2 点線:暗記不要

正解

- (1) of an affect \rightarrow effect
 - ◆affect = 動詞 effect = 名詞
- (4) ask out \rightarrow ask her out
 - ◆ask 人 out = 人をデートに誘う → 過去3回出題
- (7) breakup \rightarrow breakdown
 - ◆breakup = ①絶縁 ②分裂 breakdown =①崩壊 ②神経衰弱
- (8) butting into front of → butting in on (~に口をはさむ)
 - ◆捨て問。だが、このレベルを高校生は絶対に解けないため、front of を見て、in front of じゃん!と思って答えにすることを想定していると思われる。
- (9) 文構成が×
 - ◆捨て問。call down 人 for ~= ~のことで人を叱りつける という形で使う。 暗記不要。call 人 down for ~ でも OK。

間違っていない選択肢

- (2) be ecstatic about ~= ~に非常に興奮した
- (3) turmoil = 騒ぎ upheaval = 大混乱
- (5) back off = 身を引く
- (6) lose one's temper = キレる blow up = 激怒する the way S do = S がするように
- (10) catch on to ~= ~を理解する

2019 年追記

2 について

現在の推薦入試問題は文法語法がメインのため、今回のように語彙中心なのは旧傾向といえる。